

平成 30 年 (2018 年) 7 月 5 日

報道関係各位

近畿大学
TDC ソフト株式会社

AI を用いた学生評価支援の研究 学生の自己評価を AI が支援する授業を報道関係者に公開

近畿大学経営学部（大阪府東大阪市）と TDC ソフト株式会社（東京都渋谷区）は、AI（人工知能）の活用によってアクティブ・ラーニングにおける学生評価を支援し、教員の業務負担軽減を実現するための共同研究を行っています。平成 30 年（2018 年）7 月 11 日（水）に、グループワークでの自己採点を AI が支援する授業を公開します。



グループワークの様子

【本件のポイント】

- アクティブ・ラーニングに AI を活用した学生評価支援を取り入れた授業を公開
- グループワークにおける各学生の貢献度を、SNS 上のやり取りをもとに AI が分析・評価
- 現在大きな問題となっている教員の業務負担軽減や授業満足度向上に繋がる研究

【本件の概要】

近畿大学と TDC ソフトは、教員の負担軽減や、評価の公平性の担保などを目的に、学生のコミュニケーションや学習意欲を AI に分析・評価させる共同研究を行っています。

今回公開する授業は、経営学部経営学科の 1 年生約 300 人が受講する「情報倫理」です。学生たちは 3 週をかけて 8~10 人のグループワークで、「『ネットワーク利用資格試験』の試験問題を作成する」という課題に取り組んでいます。授業時間以外にも SNS を使って、個人が調べた情報の共有や議論を重ねており、AI はこの SNS 上でのやり取りを分析して学生個人を評価、学生の自己評価を支援します。今回は、この AI による評価を参照しながら学生が自己評価を行う様子と AI に対する学生の感想や要望を聴取するワークショップの様子を公開します。なお、前期授業全体の評価は、学生の自己評価、AI による評価、提出された課題等を担当教員が総合的に評価して決定します。

■ 日 時：平成 30 年（2018 年）7 月 11 日（水）10：45~13:00（12:15~ワークショップ 予定）

■ 場 所：近畿大学東大阪キャンパス 20 号館 20-2 教室

（大阪府東大阪市小若江 3-4-1、近鉄大阪線「長瀬駅」から徒歩約 10 分）

■ 授 業：経営学部経営学科「情報倫理」（担当教員：准教授 鞆 大輔^{とも だいすけ}）

■ 受 講 者：近畿大学経営学部経営学科 1 年生 約 300 人

本件について取材をお願いします。取材の際は、事前に下記までご連絡ください。

<本資料配布先> 文部科学記者会、兜倶楽部、大阪科学・大学記者クラブ、東大阪市政記者クラブ

【報道機関からのお問合せ】

近畿大学 総務部広報室

担当：高橋、坂本

TEL：(06)4307-3007 FAX：(06)6727-5288

E-mail：koho@kindai.ac.jp

TDC ソフト株式会社

技術開発推進本部 未来技術推進室 担当：入嶋

経営企画部 担当：市橋

TEL：03-6730-8111 E-mail：tdc.ai@tdc.co.jp